

## 第14回 トラック輸送における取引環境・

### 労働時間改善岡山県地方協議会《議事概要》

令和2年12月1日(火) 14:00~16:00

岡山県トラック総合研修会館 4階研修室

#### 1. 開会

#### 2. 出席者紹介（委員名簿及び出席者名簿による紹介）

#### 3. 開会の挨拶《森井中国運輸局自動車交通部長》

- ・委員の皆様にはお忙しい中、本協議会にご出席いただき感謝申し上げます。
- ・今年に入ってから新型コロナウイルス蔓延という未曾有の事態の中、国土交通省が行っている統計調査では、本年5月の一般貨物の輸送量が対前年同月比82%という大きな落ち込みとなり、その後は回復を示してはいるものの現場の事業者の感覚としては相当厳しいものであると認識している。
- ・新型コロナウイルスにより多くの企業が影響を受ける中、「標準的な運賃」の周知徹底については適切な時期を模索してきたところである。
- ・一方でトラック運送業を取り巻く環境は待ったなしの状況であり、標準的な運賃については現在様々なツールを活用しながら広く周知に努め、理解促進をはかっている。
- ・本日の協議会においては、ご出席の皆様より忌憚のない意見をいただけるようお願い申し上げます。

#### 4. 議題

##### (1) トラック運送業の働き方改革に向けた厚生労働省の取組について

[資料1に基づき説明（岡山労働局）] ～略～

##### 【加賀山幹事（岡山県交通運輸産業労働組合協議会事務局長代理）】

- ・働き方改革に関する取り組みについて、大手の運送事業者には徐々に浸透しつつあるが、地場の中小企業については、荷主との関係もあって浸透しきれていないと感じている。
- ・荷主事業者の協力を得ながら、取組みについて行政から引き続き周知いただけるようお願いしたい。

### 【子安労働基準部長（岡山労働局長代理）】

- ・ポータルサイトにある企業向けメニュー「web 診断ツール」の狙いは、中小・零細事業者が自社の弱点や改善すべき点などについて、荷主など取引先と話し合いを行うための基礎資料の作成を手助けすることである。
- ・私どもとしては、最終的に個別の運送事業者・発荷主・着荷主の三者で情報共有の場を設けることが重要だと考えているので、運送事業者の取り組みについて荷主サイドへの理解・協力を得られるよう引き続き支援を行っていきたい。

### （２）中央協議会について

[資料 2 に基づき説明（岡山運輸支局）] ～略～

### 【森井自動車交通部長（中国運輸局長代理）】

- ・「ホワイト物流」推進運動について、まだまだ賛同企業は少ない状況であり、荷主企業の中にはこの制度自体を知らないところがあるという話も聞く。行政としても周知が足りないとの思いがあり、今後様々な場をとらえて浸透を図っていくとともに、荷主団体の会合などの場で、制度について説明することの依頼があれば対応させていただきたい。
- ・よりスムーズに荷主に対して改善を促す「働きかけ」については、運用が開始され荷主の行為に対し文書による働きかけを国土交通本省にて実施しているところであり、それが上手く回れば地方局でも実施していく予定にしている。
- ・ここで取り上げた様々な施策により、長時間労働の改善に向けて取り組もうとしているところである。

### （３）「標準的な運賃」について

[資料 3 に基づき説明（岡山運輸支局）] ～略～

### 【西本委員】

- ・岡山県トラック協会美作支部でも標準的な運賃説明会を開催し、それにあたって荷主企業に出席をお願いしたが、やはりコロナの影響を理由に後ろ向きで、運送事業者も今はそれどころではないといった反応が多く、参加者が思ったより少なく残念な思いをした。
- ・引き続き標準的な運賃については、説明会などを通じて荷主への働きかけをお願いしたい。

### 【馬屋原委員】

- ・当社の代表が岡山県トラック協会の会長であるという立場から、運送事業者には届出をすることを働きかけているがなかなか進んでいない。
- ・岡山県貨物運送(株)では先日、標準的な運賃への変更届を行った。それをしてから

でない。荷主としても運送会社としても運賃に対する意識は上がっていかないのではないかと。意識向上のために何かいい方法があれば教えていただけたらと思う。

#### （４）対象輸送分野（飲料・酒）における取り組みについて

[資料４－１、４－２、４－４に基づき説明（岡山運輸支局)] ～略～

[資料４－３に基づき説明（相馬委員)] ～略～

#### 【相馬委員】

- ・現在も、平成２８年度のパイロット事業の内容を継続しつつ、さらに無駄がないかなどを考えながら改善のための取り組みを行っている。
- ・工場の中の保管効率を上げることで、トラック不足を改善できればと考えている。
- ・出門時刻を１８時より前とするのは岡山支店独自の目標設定である。
- ・ピッキングの早期化では、平成２８年度に開始時間を１４時１５分に前倒ししたのを、さらなる効率化として１４時開始にした。スタート時間を早めることでトラックへの荷積みのスピードを上げていく。
- ・取り組み成果として保管KLの向上量（５５０KL）が意味するのは、外に出す製品が減ってそれを運ぶトラックの数も減ったということである。運送事業者から見たら荷物量が減ったこととなるが、トラックの数が少なく確保が大変な状況においてはこのような取り組みもしっかりと行っていきたい。

#### 【有利座長】

- ・キリンググループロジスティクス(株)が改善のための取組みを継続して行っていることは、他の事業者にとっても役に立つものになるものと思う。

#### 【子安労働基準部長（岡山労働局長代理）】

- ・２０１９年度から２０２０年度にかけて改善を進められたことが分かったが、取り扱っている製品について、コロナの流行によって生産量などに増減が発生したといった影響はあったのか。

#### 【相馬委員】

- ・トータルでは前年比で１割ほど荷物量が落ちている。品目では量品店向けのビールや大樽が激減し、最近回復してきているがそれでも前年の６割程度。一方で密を避ける傾向や宅飲みの増加といった要因での需要が伸びているが、やはり業務用の減少分はカバーしきれずトータルでも荷物量の減少につながっている。

#### 【子安労働基準部長（岡山労働局長代理）】

- ・拘束時間が減少したという結果について、コロナによる荷物量の減少によるものなのか、説明にあった取り組みを進めていったことの効果によるものなのか、その点に

ついてはどうお考えか。

**【相馬委員】**

・仰るとおりコロナによる影響を受けているのは事実だが、それ以上に継続的に改善のための活動を行ってきたことによる効果が大きいと考えている。これは社内でも共通の認識である。

**【西本委員】**

・我々運送業界では、相変わらず下ろし先での問題がある。キリングroupプロジスティクス(株)では、下ろし先での課題や、そういったものに対しての認識や対策についてはどうお考えか。

**【相馬委員】**

- ・私は以前、お届け先での業務改善を担当しており、営業担当及び物流担当と一緒に出向いて改善の申し入れをした経験がある。
- ・お届け先が改善してくれるかどうかは、設備やコストの面で厳しいという反応も多く、自社で生産性向上に向けて取り組むことと比べると難しいと感じた。
- ・外部からの視点で改善策などをアドバイスすることもあったが、それがなかなか改善に向かっていかないという現実があった。
- ・運輸業界全体で、各者が合同で取り組んでいかなければ改善は難しいというのが現状ではないか。

**【西本委員】**

- ・当社は紙を運送しており、関係先に要望したことで積込み作業が早くなったなど改善された点もある。下ろし先に対しては待ち時間などについて改善を申し込むが、下ろし先それぞれの事情があり、また設備の問題や他社の動きとの兼ね合いで待たされる時間が依然として残っており、この点がどうにか改善されないかと思っている。
- ・荷主サイドはかなり協力的で、時間に関する要望に対して改善はされてきたが、下ろし先での問題が絡んでくると、荷主にとっては得意先ということもあり満足に対応してもらえないという話も聞き、やはり下ろし先での対応が難しいと感じている。

**【有利座長】**

・キリングroupプロジスティクス(株)では着荷主と交渉する場合、岡山支店として行うのか、それとも本社でまとめて行うのか。

**【相馬委員】**

・当社は支社制をとっており、岡山支店は西日本支社のラインに属している。西日本支社の物流管理部のスタッフが改善のための活動にあたっている。

- ・注文をコントロールするというをやりに切れていないと感じている。注文を受けられるだけ受けた結果トラックが一定の時間に集中するというのは、例えば一週間の中で平準化を進めることでもう少し待機時間を短くすることができるのではないか。
- ・流通先の業務についても改善されないと全体では良くなり、届け先と荷主だけでなく流通先も入れての解決策が必要だと考えている。

#### 【有利座長】

- ・事務局が提示した案にて今年度の岡山県地方協議会での取り組みを行っていくことでよいか。了解を得たい。(全員了解)
- ・キリングroupプロジスティクス(株)には、ぜひ取り組みについてとりまとめ等を行うにあたってご協力をお願いしたい。

#### (5) その他

#### 【事務局】

- ・次回協議会は来年3月を予定している。正式な日程等については追って連絡する。

### 5. 閉会の挨拶《子安岡山労働局労働基準部長》

- ・ご出席の皆様には貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。
- ・キリングroupプロジスティクス(株)の継続的な取り組みは、会社全体で同じ目的を持って取り組まれていることが理解できた。
- ・コロナによる影響が厳しい中での雇用情勢についてご紹介すると、本日発表された岡山県内の有効求人倍率の最新の数値は、福井県に次いで全国2位と高順位ではあるが、昨年12月の水準からは大きく減少しており、落ち幅という点からは非常に大きく影響を受けた県であると認識している。
- ・雇用調整助成金の更新申請の状況から、特に製造業の割合が増えてきており、まだまだ生産活動の減少の影響が出てきていると感じている。
- ・運送事業においても、改善のための取り組みを行うことが厳しくなった分野もあれば、一方で宅配やスーパー向けの配送など需要が伸びドライバーの確保がより必要になった分野もあり、運送業界自体で二様に分かれているといえる。
- ・今後生産活動を元に戻していくためには、やはり運転者を確保することが必要で、そのためには賃金や労働時間など条件の改善を、苦しい中でも計画的に進めていっていただくことが大事だと考えている。
- ・岡山県内の取り組みだけでは厳しい部分もあるが、改善できることをそれぞれの企業が少しずつでも進めていかれることをお願いしたい。